

科目名 (英)	介護の基本A ( Basics of Nursing Care A )	必修 選択	必修	年次	1	担当教員
学科・コース	介護福祉士科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	90	開講区分 曜日・時限
【授業の学習内容】						
<p>「尊厳の保持」、「自立支援」という新しい介護の考え方を理解するとともに、「介護を必要とする人」を、生活の観点から捉えるため視点が習得できる。また、介護における安全やチームケア等について理解できる。</p> <p>※実務者経験:①医療機関に所属していた。主業務は内科及び整形外科部門を担当していた。※取得資格:看護師          ②福祉施設等に所属していた。主業務は高齢者の介護及び相談支援業務を担当していた。※取得資格:介護福祉士          ③福祉施設等に所属していた。主業務は高齢者の介護及び相談支援業務を担当していた。※取得資格:社会福祉士・介護福祉士</p>						
【到達目標】						
<p>大目標・・・「尊厳を支える介護」、「自立に向けた介護」、「介護を必要とする人の理解」、「介護従事者の倫理」について理解できる。</p> <p>中項目・・・          「QOL」、「ノーマライゼーション」、「利用者主体」、「自立支援」、「個別ケア」、「ICF」、「リハビリテーション」、「人間の多様性・複雑性の理解」、「高齢者のくらしの実際」、「障害のある人のくらしの実際」、「介護を必要とする人の生活環境の理解」、「職業倫理」、「利用者の人権と介護」、「プライバシーの保護」について理解できる。</p>						

授業計画・内容	
1回目	「生活の理解①」…生活の概念について理解できる。
2回目	「生活の理解②」…生活の考え方について理解できる。
3回目	「生活の理解③」…私たちの生活について、演習を交えながら理解できる。
4回目	「人の理解①」…世帯や家族との暮らしについて理解できる。
5回目	「人の理解②」…日々の健康と人の生活リズムについて理解できる。
6回目	「人の理解③」…その人らしい生活とは何かについて理解できる。
7回目	「人の理解④」…生活環境の捉え方について理解できる。
8回目	「人の理解⑤」…生活障害の理解と生活のニーズの概要について理解できる。
9回目	「人の理解⑥」…生活障害の理解と生活のニーズについて、演習を交えながら理解できる。
10回目	「介護を必要とする人の理解①」…人間の多様性・複雑性について理解できる。
11回目	「介護を必要とする人の理解②」…高齢者のくらしの現状と実際について理解できる。
12回目	「介護を必要とする人の理解③」…障害のある人のくらしの現状と実際について理解できる。
13回目	「介護を必要とする人の理解④」…介護を必要とする人の生活環境について理解できる。
14回目	「尊厳を支える介護①」…介護のイメージについて、演習を交えながら理解できる。
15回目	「尊厳を支える介護②」…介護とは何かについて、演習を交えながら理解できる。
16回目	「尊厳を支える介護③」…QOLの考え方について理解できる。
17回目	「尊厳を支える介護④」…ノーマライゼーションの考え方について、演習を交えながら理解できる。
18回目	「尊厳を支える介護⑤」…ノーマライゼーションを実現するための方法について理解できる。
19回目	「尊厳を支える介護⑥」…利用者主体の考え方について理解できる。
20回目	「自立に向けた介護①」…介護の成り立ちについて理解できる。
21回目	「自立に向けた介護②」…介護についての時代の変遷について理解できる。
22回目	「自立に向けた介護③」…生活支援の概念について理解できる。
23回目	「自立に向けた介護④」…利用者に合わせた生活支援について理解できる。
24回目	「自立に向けた介護⑤」…利用者主体の考え方、利用者主体の実現について理解できる。
25回目	「自立に向けた介護⑥」…自立・自律の考え方、自己決定・自己選択、自立支援の考え方、自立支援の具体的展開について理解できる。
26回目	「自立に向けた介護⑦」…生活意欲への働きかけ、エンパワメントの概念について理解できる。

27回目	「自立に向けた介護⑧」…個別ケアの考え方、個別ケアの具体的展開について理解できる。
28回目	「自立に向けた介護⑨」…ICFの考え方、ICFの視点に基づく利用者のアセスメントについて理解できる。
29回目	「自立に向けた介護⑩」…リハビリテーションの考え方と概念について理解できる。
30回目	「自立に向けた介護⑪」…リハビリテーションの実際について理解できる。
31回目	「自立に向けた介護⑫」…病院・施設におけるリハビリテーションの現状と実際について理解できる。
32回目	「自立に向けた介護⑬」…在宅におけるリハビリテーションの現状と実際について理解できる。
33回目	「自立に向けた介護⑭」…介護予防の概念と実際について理解できる。
34回目	「自立に向けた介護⑮」…リハビリテーション専門職との連携について理解できる。
35回目	「自立に向けた介護⑯」…チームケアと他職種連携について理解できる。
36回目	「介護従事者の倫理①」…介護従事者の職業倫理について、演習を交えながら理解できる。
37回目	「介護従事者の倫理②」…介護実践の場で求められる職業倫理について理解できる。
38回目	「介護従事者の倫理③」…身体拘束、高齢者虐待の現状と対策について理解できる。
39回目	「介護従事者の倫理④」…障害者、児童虐待の現状と対策について理解できる。
40回目	「介護従事者の倫理⑤」…介護を利用する人の人権と介護について理解できる。
41回目	「介護従事者の倫理⑥」…介護を利用する人の人権と介護について、演習を交えながら理解できる。
42回目	「介護従事者の倫理⑦」…プライバシー保護の重要性について理解できる。
43回目	「介護従事者の倫理⑧」…プライバシー保護の重要性について、演習を交えながら理解できる。
44回目	「介護従事者の倫理⑨」…介護従事者が実践する、尊厳を支えるかかわりについて理解できる。
45回目	「介護従事者の倫理⑩」…介護従事者が実践する生活支援と自己の福祉観について理解できる。
準備学習 時間外学習	準備学習…授業に臨むにあたって、教科書の内容を熟読しておく必要があります。 時間外学習(復習)…各単元の講義後に確認テストを実施します。講義の復習が必要です。
評価方法	成績の評価は、「試験」の点数で100点満点とする。「試験」には科目試験や中間試験、小テスト等の臨時試験の評価などが含まれる。
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】	
教科書：新・介護福祉士養成講座③「介護の基本Ⅰ」（中央法規出版）	